

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

メダカコースも頑張りました

第2回水泳記録会から

先週の木曜日は、第2回目の水泳記録会でした。たくさんの方の保護者の皆様にご覧いただいたように、子ども達は日頃の練習の成果を出そうと精一杯頑張っていました。

第1回目の記録と比較できる子ども19名について見ると、3種目とも記録を更新した者が9名、2種目の記録を更新した者が9名、1種目の記録を更新した者が1名という結果でした。毎回記録会をする度にどんどん記録が良くなるかという、決してそうはいきません。上級コースになるほど記録の伸びは限られてきます。それでも、自己ベストを目指して全力で取り組むことに、記録会を開く意味があるのだと考えています

今回が初めての記録会という子ども達も、本当によく頑張っていたと思います。水そのものを恐れていた子どもが、水の中で楽しめるようになったり、プールの壁から離れられなかった子どもが自分の力で浮いたり進んだりできるよ



いよいよ記録会が始まります

うになったり、その進歩にはめざましいものがあります。

メダカコース(初心者)の目標は、まずはクロールで25mを泳げるようにすることです。今回もそこを目指して一生懸命練習してきました。記録会の前週の練習では、今まで25m泳げなかったうちの何人もが泳げるように上達していました。ところがいざ記録会となると、この前泳げたのに途中でロープにつかまってしまうという場面も見られました。

これが水泳の難しさなのだと思います。頑張ろうとするあまり力が入り過ぎ、水にのるということができなくなってしまったのです。力が入り過ぎると、身体が重くなり水の中で沈んでいきます。その

学校施設の活用

休日を利用し日本人会有志の方々が、学校を会場にバンド練習をしておられます。昨日は2回目となる練習を、ホールを使ってされていました。休日の娯楽が見つけにくいこの国ですから、学校施設をこうして皆様のお役に立てることができれば、とても良いことではないかと思います。

これまでも、定期的に図書室の本を借りに見える方がおられますが、もっと多くの方

ために顔を上げたとき水を飲んでしまったり、上級者でも記録が落ちたりすることにつながっていきます。

水の中でリラックスし、力強さ以上に水にのって泳ぐ感覚を身につけるには、やはり相当な練習時間が必要です。しかしドーハ日本人学校では、年間を通して水泳ができる環境にあり、誰もにそういう感覚を身につけさせることができるよう、これからさらに頑張っていきたいと思います。



多くの子どもが記録を伸ばしました

が日本人学校を利用されるようになっていきたいと思います。

いろいろな方のお世話によって成り立っているのが日本人学校です。少しでも皆様のお役に立てるように活用できればよいと考えています。



熱のこもった練習でした

校長室便り

(文責)

ドーハ
日本人学校校長
酢谷昌義

真新しい国旗がはためいています

思う気持ちを養うことは、やはり重要なことだと考えます。

委員会の連絡から

○生活安全委員会から、今月の生活目標「言葉遣いに気をつけよう」について説明がありました。少し言葉遣いが乱れているようだとの指摘があったので、みんなで気をつけていきたいものだと思います。

○昼食美化委員会から、昼食のとり方の工夫について提案されました。担任の先生が入れ替わって昼食をとるという楽しいアイデアが紹介され、その実施が楽しみになりました。

○生徒会執行部から、靴の整頓について呼びかけがありました。低学年の整頓が良くて、上学年の方があまり良くないので気をつけようということでした。

明日からお休みです

明日から5日間の連休になります。お出かけされる方も多いと思いますが、安全で楽しい休みになればと思います。

十分に楽しんでいただくことと合わせ、体調を崩している子が多くいましたので、ゆっくりと休養し、来週からまた元気で登校できるようにご配慮いただけたらと思います。

有意義な休みになりますようお祈りしております。

国旗のことを知ろう!

昨日の全校集会では、国旗(日の丸)のことについて話しました。なぜこの話をするにしようかという、昨年からずっと玄関横のポールに掲げていた国旗がぼろぼろになってしまい、いよいよ新しいものに替えなければならなくなったからです。実はすでに2週間ほど前に新しいものと取り替えていたのですが、そのことを話す良い機会がなかったということもあります。

子ども達に真新しい国旗と、色があせて黒ずみ、端からかなりの部分がちぎれてなくなってしまっていた国旗とを見比べてもらいました、みんなその違いに驚いたようでした。1年以上もドーハ日本人学校に掲げられていた国旗です。どんなに古くぼろぼろになっていても、この旗にはずいぶんお世話になったんだということをお話しました。

おそらく旧ドーハ日本人学校の校舎にも、この旗は掲げられていたものだと思います。大使館の倉庫に預けられ

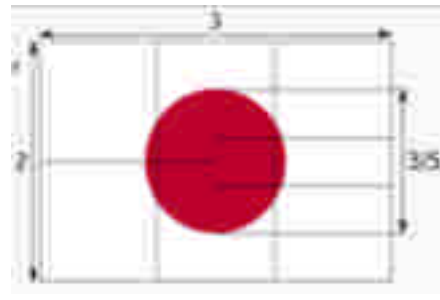


こんなに色あせ破れてしまいました

ていたものの中にこの国旗も含まれていましたが、見つけたときにはすでにかなり色あせていたのです。私は旗の色に歴史の重みのようなものを感じました。

それから日の丸の意匠について説明しました。縦と横の長さの比が2:3であること。中央部の赤い円:日章の直径は、縦の長さの5分の3になっていること。現在は、その日章が布地の中央に置かれていることなどを話しました。「現在は」というのはどういうことかと言うと、長らく慣行として日章が中央からわずかに100分の1旗竿側に近づけたものが使用されてきたということです。ほとんど分らないほどの違いですが、風にはためくときの見栄えは日章が旗竿によっている方が美しいとされていました。

日本を離れて生活するものにとって、日の丸は最も日本と日本人であることを意識する旗なのは間違いのないものだと思います。その旗を大切に



日章旗の制式(サイズ等の決まり)

こんなに色あせ破れてしまいました